

2018年11月6日

各 位

上場会社名 加 賀 電 子 株 式 会 社
 コード番号 8 1 5 4 東 証 第 一 部
 本社所在地 東京都千代田区神田松永町20番地
 代表者の 代表取締役社長 門 良 一
 役職氏名
 問合せ先 常務取締役管理本部長 川 村 英 治
 T E L 0 3 - 5 6 5 7 - 0 1 1 1

業績予想の修正および剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年8月7日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、2018年11月6日開催の取締役会において、下記のとおり、2018年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について、決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	290,000	7,700	8,000	7,300	266.04
増減額（B）－（A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	235,921	8,119	8,740	6,490	236.58

修正の理由

当社グループが属するエレクトロニクス業界を概観しますと、電子化・電脳化が進行する車載関連市場の拡大、IoTを背景としたビッグデータ時代に対応したストレージ需要の拡大など、電子部品に対する需要伸長が続いています。一方で、供給サイドの増産対応が追い付かず、前連結会計年度後半より一部の部材において需給逼迫が顕在化しております。

2019年3月期は、このように先行きの不確定要素が大きいことに鑑み、期初における通期業績見通しの公表を差し控えておりましたが、当第2四半期連結累計期間の実績および最近の市場動向を踏まえ、加えて2018年9月10日公表の「富士通エレクトロニクス株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に伴う収益への影響も織り込み、2019年3月期通期連結業績予想を上記のとおり算定いたしました。

（富士通エレクトロニクス株式会社の株式取得（子会社化）について）

当社グループを取り巻く事業環境の変化は加速しており、また、未だ多くの競合企業が存在するエレクトロニクス商社業界で、企業間競争は今後ますます厳しくなるものと認識しております。

このような状況の中、今後の成長戦略の一環として「富士通エレクトロニクス株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」を公表いたしました。

富士通エレクトロニクス株式会社の子会社化により、当社は売上高5,000億円級の企業グループを形成することとなり、「我が国業界No.1企業」として経営基盤を固め、これを足場にして売上高兆円級の海外競合企業とも伍して戦える「世界に通用する企業」として更に成長すべくグループ経営の規模および質の向上に取り組んでまいります。

本日（2018年11月6日）、本件を織り込んだかたちで当社グループが描く中長期の成長シナリオの概要を「中期経営計画2021」として発表いたしました。

●剰余金の配当（中間配当）の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2018年8月7日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2018年9月30日	同 左	2017年9月30日
1株当たり 配当金	35円00銭 (普通配当30円00銭) (記念配当5円00銭)	30円00銭	30円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当5円00銭)
配当金総額	960百万円	—	823百万円
効力発生日	2018年12月7日	—	2017年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

理由

当社は1968年の創業以来、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、独立系エレクトロニクスの総合商社としての強みを活かして電子部品の販売からEMSビジネスへ、更には、お客様製品の企画・開発からソフトウェア・映像制作、ネットワークソリューションを中心としたシステムサポート等、国内外を問わず多様なサービスを提供してまいりました。

このように、お客様の様々なニーズにお応えしていくことで当社グループの業容を拡大し続け、2018年9月12日をもちまして創立50周年を迎えることができました。これもひとえに株主様をはじめ、関係者の皆様からの長年のご支援の賜物と感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、「創立50周年記念配当」を実施することとし、2019年3月期の中間配当は、普通配当30円に創立50周年記念配当5円を加えて、1株につき35円とさせていただきます。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		40円00銭	75円00銭 (普通配当70円00銭) (記念配当5円00銭)
当期実績	35円00銭 (普通配当30円00銭) (記念配当5円00銭)		
前期実績 (2018年3月期)	30円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当5円00銭)	40円00銭 (普通配当35円00銭) (特別配当5円00銭)	70円00銭 (普通配当60円00銭) (特別配当10円00銭)

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上